

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール中馬込
施設所在地	大田区中馬込2-2-18

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園では「夢中になって遊ぶ子ども～遊びを支える保育者の援助と環境について～」を令和7年度の園内研究主題として掲げている。1歳児から5歳児までが生活する中で、年齢や発達に応じて、自分の身の回りの環境に関心を持ち、遊びに取り入れる姿が見られる。

子どもは日々の遊びや生活の中で、太陽の光や室内の照明、物に映る影の動きなどに気づき、立ち止まって見たり、触れたりしながら確かめようとする姿が見られる。園庭はないが、室内環境や窓際の空間を通して、光や影の変化を感じ取る様子うかがえる。

こうした子どもの興味や感覚を大切に、光の当たり方や影の形の違いを、日常の保育環境の中で無理なく味わえるようにしていきたい。子どもが自分なりに気づき、試す姿を保育者がそばで見守りながら関わっていけるよう、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

3歳児 2回（5月1回、9月1回）／4歳児 1回（9月1回）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【環境】子どもたちが光や影の変化に気付いたり興味をもったりできるよう、日頃から保育室にカラーセロファンを用いた壁面を設置したり、光の当たり方によって影が変化するような環境を整えたりした。

【素材・道具】プラコップ、懐中電灯、スズランテープ、テープ、画用紙、カラーセロファン

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

###### 【②問いを考える】

カラーセロファンを通して光が色づいて見える様子を観察しながら、「どうして光の色が変わるのだろう」「なぜきれいな色になるのかな」と問いかけ、光や素材への関心を引き出した。

###### 【③環境をデザインする】

カラーセロファンやテープ等を用意し、カラーセロファンのスタンドクラスが見える位置に製作コーナーを設けた製作した作品を太陽の光が差し込む場所にかざし、色の変化や見え方の違いを確かめる活動を行った。また、プラスチックコップにマーカーで絵を描き、内側から懐中電灯で照らすことで、光の色づきや映り方の変化を試した。活動の様子は写真で記録するとともに、子どもの発言や表情をメモし、振り返りに活用できるようにした。イメージや想像を膨らませながら作れる環境を設定した。

###### 【④探究活動を実践し、記録する】

作成したものを太陽の光が差し込む場所に照らしてみることで色の変化する様子に触れる活動を行った。また、プラコップにマーカーで絵を描き、コップの内側から懐中電灯で照らすことで、光の色づきや映り方の変化を感じられるようにした。子どもの取り組む様子を写真に収めたり、言葉や表情などをメモして、振り返りの際に活用できるようにした。

###### 【⑤振り返る・共有する】

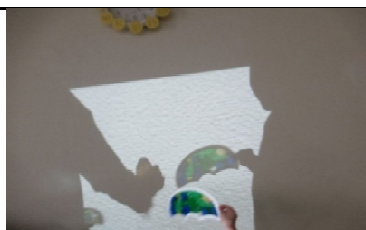
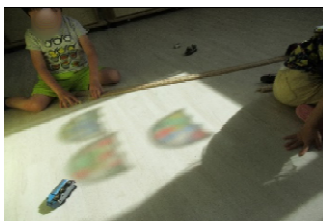
行った日中にクラス担任、主任、施設長等の保育者同士で感じたことや気づきを振り返ったり、写真を見て「どう感じていたか」などを子どもの目線に立って考えてみたりして振り返りを行った。話し合ったことをもとにすくわく会議で内容を周知した。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

①子どもが作ったスタンドグラスを保育室の窓に貼ると、午睡後に西日が差し込み、床に色が映る様子に気づき、じっと見つめる姿が見られた。また、時間によって見え方が変わることにも気づき、「今日も見えるかな」と言葉にする様子もあった。

②プラコップに絵を描き、内側から懐中電灯で光を当てると、色のついた影ができることに「すごい」「きれい」などと言いながら関わる姿が見られた。自分の描いた絵が映る様子を見て、保育者や友だちに見せる場面もあった。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

日々の関わりや子どもの姿を見ていく中で、ステンドグラスを通して見える光に子どもたちが目を向け、色の映り方や見え方の違いに気付く姿が見られた。また、懐中電灯の光を当てることで、光の当たり方によって見え方が変わることにも触れるなど、活動が広がる様子もあった。こうした経験から、光の変化や違いに気付けるような環境や関わり大切さを感じた。